

じつぶつ九九表を作ろう

単 元	かけ算（２）	対象学年	２ 年
ね ら い	身のまわりにあるかけ算を探し，どんな場面で九九（かけ算）を使うべきか判断する力を身に付けることができる。		

1 準備するもの

教師：拡大した九九表，iPad，ワークシート

児童：筆記用具

2 学習のしかた

(1) かけ算を学校内で探し，iPad で写真を撮る。

(例：トイレのスリッパ 2×5 ，靴箱 5×8)



【iPad で写真を撮る】

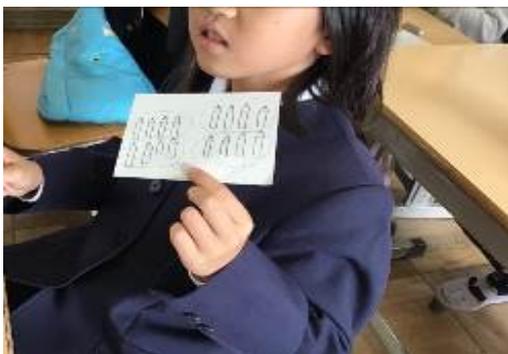
(2) 各班が写真を学級全体に発表し，みんなにかけ算の式を答えてもらう。式を当てた子どもは，拡大した九九表に写真を貼る。



【九九表に写真を貼る】

(3) まだ埋まっていない九九の箇所は絵で場面を描き，表に貼る。

(例：りんごが3つ乗っているお皿が2つ 3×2)



【絵で場面を描く】

(4) 実物九九表の完成。



【実物九九表】

3 学習上の留意点

- ・事前に○×□と□×○のちがいをおさえておく。
- ・九九表で重複しないよう、各班に見つけてくる九九を指定しておく。
- ・子どもが撮ってきた写真の中には、見方によって他の式に捉えられるものもあるため、なぜこの式になるのか、撮影した班や教師から学級全体に説明が必要となる場合がある。

4 学習の効果

- ・日常生活と結び付けることで、算数に対する関心・意欲・態度を高めることができる。
- ・iPadを使用することで、算数が苦手な子どもも積極的に授業に参加することができる。
- ・iPadから教室のパソコンサーバーに写真を移すことで、テレビの大画面で写真を発表することができ、全体で共有しやすくなる。
- ・「基準量のいくつ分」というかけ算の考え方を定着することができる。
- ・乗法の性質を理解し、文章問題における演算決定がスムーズにできるようになる。



【iPadから教室のパソコンサーバーに移す】

5 参考資料

【各班に配布したワークシート】

- ・各班に九九を指定し、ヒントを与える。
(例： 2×8
先生が毎日使うものだよ)
- ・見つけたものを記録できる
よう項目をつくる。

